

1 受賞団体・個人の名称

さとうかんきつえん さとうむつみ
佐藤柑橘園 代表 佐藤睦（佐賀県鹿島市）

（問い合わせ先）
osetumikan@yahoo.co.jp

（経歴）
昭和43年に就農。昭和60年より減農薬栽培、昭和62年より全圃場（3ha）において無農薬・無化学栽培を開始。
平成13年には7.6haで有機JAS認定を受け、耕作放棄地を借り込み現在までに12haにおいて取組を拡大している。



2 生産面の取組

①土づくりの取組

フルーツグラス（イネ科草木）による草生栽培を全圃で実施し、その根による土壌物理性質の改善を図るとともに、腐植の供給源としている。また、400kg/10aの心土を樹冠下に客土し、ミネラル補給と表層の流亡を防止している。



フルーツグラスでの草生栽培

この結果、園地に保水能のある有機物の層が形成され、気象条件に左右されない高品質果実が生産され、慣行栽培で問題となっている日焼けの発生が少なくなっている。

②有機質肥料の効果的な施用

製品として信頼できる養鶏専門農協の発酵鶏糞堆肥（N2.4%）を春肥として2t/10a施肥している。
また、地力が高まってからは有機質液肥の灌水施肥に切り替えて、効率的な施肥を行う工夫をしている。

③基本管理の徹底や天敵による病虫害発生抑制

徹底した罹病葉や枝の除去、果実の丁寧な取扱いによる腐敗果発生防止、害虫の捕殺、天敵を含む生物相を豊かにする環境づくりにより、病虫害の発生を抑制している。

3 経営面の取組

①顧客の開拓と経営への参画

安全・安心を掲げ、自ら全国各地をまわり、顧客を開拓している。購買者との交流会等を実施し、直接消費者と交流を行っている。地元高校生が運営するインターネット上のモールに「さとうのみかん」を出品し、青果に加え加工品を商品化しており、ストレートジュース・マーマレード等を販売している。



ジュース、マーマレード加工食品

4 取組の成果

①有機農業の実践面積・生産量と販売高の割合

有機JAS栽培面積=12ha
生産量=170t
有機JASのみかん（青果）の販売価格=200円/kg
（一般の平均単価 141円/kg）
生産資材費=10,000円程度（慣行対比21%）

5 地域社会への貢献

①地域の農業振興に向けた取組及び若年者の雇用創出

担い手の高齢化に伴い、地域で荒廃園が増加する中、佐藤柑橘園では全圃場において環境保全型農業の中で最も総合的に技術力が必要な有機JAS栽培の認定を受け、また、農業内外から若い担い手を共同経営者として位置づけ迎え入れている。

②消費者・実需者との交流会等による農業理解への推進

福岡都市圏の佐藤柑橘みかん購入者を収穫時に50名程度招待したり、「みかんオーナー制度」を実施し、消費者との交流会を行っており、農業への理解促進に貢献している。



購買者との交流会